

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

| | |
|-----------|--|
| プログラム番号 | |
| 教育形態 | セミナー |
| プログラム名 | ISO9000 セミナー 内部監査パフォーマンス向上コース |
| 主催者(団体) | 一般財団法人日本規格協会 |
| 協賛・後援 | |
| 開催日程 | 日本規格協会ホームページでご確認ください。 |
| 総時間 | 5 時間 |
| 開催場所 | 日本規格協会ホームページでご確認ください。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> ・QMS 審査員補の資格をお持ちの方 ・組織の QMS 運営事務局/内部監査員の方 |
| 定員 | 日本規格協会ホームページでご確認ください。 |
| 題目 | |
| プログラム(次第) | <p>※開催会場により、テーマが異なります。</p> <p>《テーマ① QMS 改善に役立つプロセスアプローチによる有効性監査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効な監査とは何か ・品質マネジメントの原則／品質マネジメントの理解度演習 ・有効性監査の事例研究／有効性監査事例演習 ・監査のアプローチ ・プロセスアプローチの理論と実践 ・プロセスの分析／プロセス分析演習 ・プロセス監査の準備と実施／プロセス監査準備演習 ・プロセス監査の報告／プロセス監査報告演習 ・プロセスの改善に必要なこと <p>《テーマ② 組織の QMS の有効性向上を支援するための監査の勘所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の認証組織の多様化した QMS 運営状況 ・ISO9001 の規程事項の解釈及び適用で内部監査員や審査員が重視すべき要素 ・QMS の有効性を促すための課題の検出方法 <p>(※各单元において、ディスカッション及び質疑応答を実施。)</p> <p>《テーマ③ 新しい複合マネジメントシステムの考え方と監査技法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい複合審査技法の概要 ・組織永続のために必要な考え方(ゴーイングコンサーン) ・マネジメントシステムの現状と課題 ・組織永続のためのマネジメントシステムの必要性 ・組織永続のためのマネジメントシステムの構築／プロセスの目、リスクの目、分析演習 ・組織永続となるために必要なこと ・プロセス審査、リスク審査の準備と実施／情報収集準備演習 ・プロセス審査、リスク審査の報告／審査報告演習 ・システム改善に必要なこと |

| | | | |
|------------|--|-------------|---------------|
| 内容 | <p>QMS 改善に役立つプロセスアプローチの考え方と有効な監査技法であるプロセス監査を学んでいただくコースです。カリキュラムも演習を取り入れ、より実践的な内容となっております。</p> <p>当セミナーは、以前は審査員補や（主任）審査員の方々に「監査／審査」の力量を上げていただくための CPD コースとして実施してきました。近年は組織において内部監査を行っている方々にも対応できる内容に改訂しました。勿論、これまで通りに審査員（補）の資格維持（CPD）のためのコースとしても十分対応しております。テーマも関心の高い3つを取り上げております。</p> | | |
| プログラムの目標 | QMS審査員・内部監査員としての力量を高めること。 | | |
| CPD点数 | 20 点 | | |
| 料金 | 19 年 04 月～19 年 09 月 <8%税込> | 一般：¥ 22,680 | 維持会員：¥ 20,520 |
| | 19 年 10 月～20 年 03 月<10%税込> | 一般：¥ 23,100 | 維持会員：¥ 20,900 |
| | ※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。 | | |
| 備考(問い合わせ先) | <p>日本規格協会グループ 研修ユニット</p> <p>TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675</p> | | |
| 詳細URL | https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/005/001/011 | | |